

み

ん

な

の

芸

中田久惠選

投稿数12首

引間豊作選

投稿数19句

星冴ゆる幼き声の鬼は外

(評)冬より春へ移り変わる季、いわゆる節変わりの行事は、邪氣災厄を防ぐ呪術的な面を踏襲した豆撒きや松を門戸に挿す等陰陽道での儀式的な面が重んじられ、神社仏閣においても盛んに取り行われている。この句は一般家庭での風景であり、豆撒きを子供に託す様子が星冴ゆるといった天文学的表現により、戸外へ追い出された鬼のべそをかいしている風態が面白く演出されている。落の臺の句、二つ三つで初物の景が見える。

落の臺

煙

夕

荷

に

二

つ

三

つ

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十